

## 薩摩郷句

兼題「写真」

（唱） そん頃が一番可愛ぜかつたごつあつ  
（や） 誰な写真に嫉妬だ頃もあつ

（唱） こげな地震が二度と来んごつ祈い日々  
（わざ） 妊い地震地元終わいち思も写真

（唱） 修正が過ぎつ恥なか見合写真  
（しよせい） 満石洸吟

（唱） 良か良か良過ぎいほどんこちやなかど

（後） 嫁つ女房ん遺影ゆば裏返つ  
（あと） 諸木小春

（唱） ごめんね女房よ神様じやつで気張つくれ  
（かあ） 母さんじや無けち思ごひんなつ

（遠慮なし） 写真な齡とば教かせつ  
（よす） 上村牛歩

（唱） 88センチ係の人に測い方がおかしかったビ！

（私が） もう一度測つてみましょうか？  
（おお） 植村聴診器

（89センチ） できけビ  
（ありや） ありや？ え……と  
（やっぱり） やっぱり  
（じやらい） じやらい  
（なあ） なあ…

## 大崎短歌会

あざやかに白極まれり  
夕顔に一年ぶりねと手を触れてみる

内田ちどり

ケロケロと存在感強く田におりし  
蛙の声を今年は聞かぬ

行謙泰子

三センチほどに伸びたるあごひげを  
撫でさすりつつ高砂謡う

大和元直

朝の鯉口せわしげに半夏生

新小倉初子

街路樹の青きが匂ふ梅雨時間

三浦倫子

夕虹や旅の終りの南溟に

溝口 稔

大隅の空へこだます雷一過

桑原正樹

近藤しづ子

「お元気ね」言われる度に自覚する  
若ぶつてている脚の重たさ

原田葉子

つつかへつ謡曲さらふ楽しさの  
たとへやうなし炎暑の午後を

## 大崎俳句会

歌集編む米寿の友や白木槿

中崎はなえ

夏草やビーバーの音遠くより

内田ちどり

朝の鯉口せわしげに半夏生

新小倉初子

街路樹の青きが匂ふ梅雨時間

三浦倫子

夕虹や旅の終りの南溟に

溝口 稔

大隅の空へこだます雷一過

桑原正樹

朝の鯉口せわしげに半夏生

新小倉初子

街路樹の青きが匂ふ梅雨時間

三浦倫子

夕虹や旅の終りの南溟に

溝口 稔

大隅の空へこだます雷一過

桑原正樹

つつかへつ謡曲さらふ樂しさの  
たとへやうなし炎暑の午後を

原田葉子

「お元気ね」言われる度に自覺する  
若ぶつてている脚の重たさ

近藤しづ子

つつかへつ謡曲さらふ樂しさの  
たとへやうなし炎暑の午後を

原田葉子

つつかへつ謡曲さらふ樂しさの  
たとへやうなし炎暑の午後を

原田葉子

# 2008.9.28[SUN]

inくにの松原キャンプ場

11:00~ OPEN  
19:00~ CLOSE

前売り: 2,000円  
当日券: 2,500円  
小学生以下無料

